



梨の花

令和7年1月24日発行
文責 井上武人

- ◆学校教育目標 『たくましく 心豊かな 子どもの育成』
- ◆具体目標 「かしこく」 自ら学び、深く考える子ども
「なかよく」 感動する心と思いやりの心をもつ子ども
「たくましく」 自分の体を守り、鍛える子ども

豊小学校HP(ホームページ)アドレス <http://www.yutaka.m-alps.ed.jp/>

3学期がはじまりました



2025年、令和7年が始まりました。古くからの言葉の通り、あっという間に1月が行ってしまいそうです。

1月10日(金)体育館で始業式を行いました。冬休みの思い出や3学期の目標について、2年生の齊藤都月さん、4年生の神田柊資さん、6年生の尾崎向日梨さんが発表してくれました。3人の発表から楽しかった冬休みの思い出や今学期頑張りたいことの決意を聴くことができました。

校長の話として、本校の具体目標である「かしこく」「なかよく」「たくましく」の3つの目標を改めて伝えました。この3つの目標を胸に、子どもたちはそれぞれの成長を目指し、学習や学校生活に励んでいます。

「かしこく」については、人の話をよく聞き、自分の考えをしっかりと発表することの大切さを伝えました。これは、これからの社会を生きていく上で、非常に重要な力となります。

「なかよく」については、思いやりの心を持ち、周りの人に優しく接することの大切さを強調しました。特に、相手を思いやる言葉をかけることは、人間関係を円滑にするうえで欠かせません。

「たくましく」については、元気いっぱい体を動かし、様々なことに挑戦することの大切さを伝えました。目標をもって体を動かすことは、心身ともに健やかに成長するために不可欠です。

また、3つの目標以外にも、子どもたちには改めて安全の大切さを伝えました。

- ・水辺など、危険が場所に近づかないこと。
- ・事件や事故があったら、すぐに大人に知らせること。
- ・出かけるときには、行き先や家に帰る時間を伝えること。
- ・夕方流れるチャイム放送を家で聞けるよう、早めに帰宅すること。

これらの約束事を守り、安全に過ごせるように御家庭でも御協力をお願いいたします。3学期は、学年のまとめの時期でもあり、次の学年への準備の時期でもあります。これまでの学習内容をしっかりと復習し、新しい学年へのステップアップを目指してほしいと思います。様々な学校行事や活動を通して、子どもたちは多くのことを学び、成長していってくれることを願っています。教職員一同、子どもたちの成長を全力でサポートしてまいります。本年もよろしくをお願いいたします。

児童会本部役員と3学期学級役員を紹介

昨年12月20日(金)、令和7年度の児童会役員に選ばれた6人に任命書を渡しました。また1月17日(金)、オンラインで学校集会を行い、3学期の学級役員の名刺を行いました。小笠原流礼法に則り、児童会役員、学級会長、学級副会長の一人一人に任命書を渡しましたが、どの子どもたちの顔つきから、豊小学校のリーダー、またそれぞれの学級のリーダーとして頑張ろうという強い決意が感じられました。

役職	氏名	役職	氏名
児童会長	●● ●●	役員	●● ●●
副会長	●● ●●		●● ●●
	●● ●●		●● ●●

学級名	学級会長	学級副会長	学級名	学級会長	学級副会長
6年1組	●● ●●	●● ●●			
5年1組	●● ●●	●● ●●●●			
4年1組	●●●● ●●	●● ●●	5年2組	●● ●●	●● ●●
3年1組	●● ●●	●● ●●	4年2組	●● ●●	●● ●●
			3年2組	●● ●●	●● ●●

蚕の糸が繋ぐ縁 ~6年生総合的な学習の時間~

豊小学校では30年以上、6年生の総合的な学習の時間に養蚕に取り組んでいます。子どもたちはこれまで蚕を育てるという貴重な体験を通して、多くのことを学んできました。養蚕を通して生まれた繭は、今年、子どもたちの想像を超える世界へとつながっていききました。

夏休みには子どもたちが育てた繭を鮮やかに染色し、シルクフラワーづくりに挑戦しました。こうした取組が、東京・日本橋で組み紐を作っておられる龍工房、福田隆さんとの出会いのきっかけとなりました。福田さんは皇室の帯締めやラグビーのメダルテープなど、数々の素晴らしい作品を手掛ける現代の名工です。昨年12月12日(木)福田さんと広瀬さんに豊小学校に来ていただき、子どもたちが育てた繭から紡いだ糸で組み紐の指導をしていただきました。また1月21日(火)には、豊小学校と同様、養蚕に取り組んでいる東京都の日本橋小学校とも養蚕学習の発表交流会を行いました。日本橋小学校4年生との交流でしたが、それぞれの学校で取り組んでいる学習の成果を発表しあいました。

今回の取組は、蚕という小さな生き物が、子どもたちと名工を結び付け、そして、山梨と東京の学校をつなぐという、大きな輪を生み出しました。この経験を通して、子どもたちは、ものづくりの素晴らしさ、伝統文化の大切さ、そして人とのつながりの大切さを学びました。

